

町田市立成瀬中央小学校

校長 坂西 圭子
(公印省略)

2021年度 学校評価報告書

1 今年度の学校経営計画の重点

(1) 確かな学力を身に付けさせる学習指導

- 集団で学び合うために、学習規律の徹底を図る。
- 基礎的・基本的な知識・技能の定着により学習意欲の向上を図る。
- 言語活動の充実を通して、考えたり、表現したりする場面を設定する。
- 学習者としての自覚をもたせ、自分の学びを振り返らせる。
- 教育環境を整える。

(2) 一人一人を大切にしつつ、規範意識を育てる生活指導

- 人権教育を推進し、子供たちの自己肯定感を高めながら、いじめの未然防止に努める。
- いつでも、どこでも、どの教職員でも一貫性のある指導をする。
- 安全教育・防災教育の視点から自分の身を自分で守る判断力・行動力を付ける。

(3) 特色ある教育活動

- 心と体の安定を図る外遊びを一層推進する。
- 校内・関係機関との連携により、個に応じた教育の推進をする。
- 自分の地域を愛する心を育む教育を、教科横断的に推進する。

(4) 家庭や地域との連携

- さまざまな手段で、学校の教育活動全般について情報発信をする。
- 地域の施設や環境、人材を生かした教育活動を計画的に推進する。
- 保護者や児童アンケート、学校関係者評価から教育活動を振り返り、改善する。

(5) 学び合う教職員集団 ※この項目省略

2 自己評価の総括

(1) 学習指導

保護者向けアンケートでは、「基礎的・基本的なことがらの定着により学習意欲の向上が図られた」という92.8%の肯定的評価を得た。さらに、「考えたり、表現したり場面を設定した授業をしている。」も88.5%の肯定的評価である。日頃の宿題や家庭学習についても年々上昇し、83.0%となった。一方、「すすんで読書をしている」が54.6%(児童アンケートでは81.7%)と3カ年低い水準のため何らかのアプローチが必要である。

(2) 生活指導

保護者向けアンケートでは、「規範意識」90.8%、「あいさつ」89.6%の肯定的評価を得た。しかし、「いじめの未然防止に対する取組」75.8%と肯定的評価が13.1%下降したため、家庭とさらに連携した取組の必要性がある。

(3) 特色ある教育活動

「地域人材の活用」「地域連携」に関しては86.5%と92.5%の肯定的評価を得たが、「小中連携」については26.7%が分からないと答えており、一層の広報が必要である。一方、オリパラ文化プログラム実践校としての教育や児童主体の校外とつながるボランティア活動をすすめることができた。

(4) 家庭や地域との連携

情報発信は95.7%、学校公開などに対しては95.1%の肯定的評価を得た。保護者会のリモート併用、学年ごとの授業公開などコロナ禍に柔軟に対応した成果である。

(5)学び合う教職員集団

教育のプロとしての授業への取組は、肯定的評価が87.8%である。個々に足りないところは補いながら、「チーム成瀬中央小」として力を伸ばす。

3 学校関係者評価の総括

(1)社会に開かれた教育課程の実現

- ・情報公開は、「かけはし」や「ポプラの風」で、この状況下でかなり積極的にできた。また、ホームページの更新も頻繁で、アクセス数も多かった。
- ・地域人材の活用は、コロナ禍でも実施方法の工夫をしながらすすめたことはよかった。保護者に十分伝わっていないことが残念である。
- ・今後もオンラインを活用した保護者会など、工夫を継続しながら積極的に開いていくことがよい。

(2)確かな学力の育成

- ・「姿勢」「声の大きさ」が年間を通して課題だと感じた。すべての授業で指導を徹底しながら、家庭との連携も図りたい。
- ・国語の力を付けていくことが今後重要である。一方、算数など保護者に説明しやすいものから、研究をしていくと安心感がある。
- ・navima やアプリを活用した授業など、先生方の努力は素晴らしいが、まだ活用のばらつきがあるので、研修を続けていってほしい。ネットマナーも、導入期の今だからこそ大切である。

(3)豊かな心の涵養

- ・心のアンケートを含め、きめ細やかな取組が組織的にできている。学校内の努力だけではなく、課程への働きかけも重要である。また、障害理解の啓発授業がよかったので、継続していく。
- ・オリパラのレガシーとして、「多様性」と「今できること」を今後も大切にしたい教育活動をし、自然と子供たちが感じていけたら素晴らしい。
- ・小学校での丁寧な取組や情報を、中学校へより一層伝えていってほしい。

(4)健やかな体の育成

- ・合同の避難訓練は、それぞれの機関が具体的な想定をすることに役立ったので、継続する。
- ・体つくりのために外遊びを大切に、年間を通して「5種目チャレンジ」をすすめてほしい。
- ・教職員のあいさつも含めて、数年前より大変よく、地域の評判も高い。

4 学校評価を受けた改善策

(1)社会に開かれた教育課程の実現

- ・情報発信や情報受信・共有の努力を継続し、「学校のいま」を伝えていく。
- ・地域人材の活用について、年間のカリキュラムを年度当初から発信していく。

(2)確かな学力の育成

- ・学習規律などは共通理解・共通指導を続けていく。
- ・タブレット端末は市のICT利用目標も含め、本当の意味での授業での活用をさらに研鑽する。

(3)豊かな心の涵養

- ・いじめ見逃し0に向け、素早い情報共有と初動を大切にしていく。
- ・オリパラのレガシーとして、「多様性」と「今できること」を継続した教育活動をすすめる。

(4)健やかな体の育成

- ・多様な避難訓練や安全指導を、全校で実施していく。
- ・体つくりのために外遊びを大切に、年間を通して「5種目チャレンジ」をすすめる。

5 学校評価の結果の公表

(1)公表の方法

保護者:アンケート集計結果を「教育活動だより」にまとめ配布

(2)公表の内容

・町田市共通項目と学校独自項目、自由意見すべての公表(学校からのコメント付)